てたものではなく，東北の某地には數億トンに上るすばらしい無煙炭田のあることが分つたと云ふし，又某地には吾人の想像に絶する多量の鐵鑛埋藏があると云ふことも聞く，これらの活用とか或は別の方法でもよいが內地に於て滿洲より廉い鐵がつくれぬとは限るまい，これは一に鐵鋼協會々員今後の努力に待つべきものと考える．

滿鮮を旅して　　菊池麟平

滿鮮各地にあつて生產報國の第一線で働いてをられる同胞各位の眞摯な姿を見た時，そして一例には過ぎないが滿鐵 1 萬 km 完成の日までの殉職者が約 1 萬を算すると聞いた時，私は

明治天皇の次の 2 つの御製を奉讀して深い感銘を覺えた．

をちこちにわかれすみても國を思ふ人の心ぞひとつなりける

國をおもふみちにふたつはなかりけり軍の場にたつもたたぬも

鐵鋼方面の視察旅行の收穫を平面的に整理してみると，日本が鐵鑛と原料鐵(スクラツプをも含む)の不足に足踏いてをる姿を如實に見，その結果が各地各樣式の貧鑛處理法となり，直接製鐵法となつて，前記資源不足の解決へと勇ましく乘り出してをるのである．貧鑛處理と直接製鐵法とはその目的とする所は異つてゐるが，結果論的に見て相一致してゐる場合もある．次表に最近我が國に於て實施され始めた製鐵法を列記する．貧鑛處理であるものもあり，富鑛のみに限られたものもあり，貧富兩鑛を兼ね得るものもあるが特に區別しない．又製品の品位純度等にも差異があり，操作の難易，生產費の高低，設備費の高低等々種々批判比較すべき點はあるが，寧ろこれ等の檢討は今後の問題となるべきものであり，その問題の解決に當つての當事者當局者の執る可き態度によつて始めて日本が或ひは興亞ブロツクが鐵鑛と原料鐵との自給自足に成功し得るのである．

廻轉爐法　クルツプ法　バツセー法　日下法　水素還元法
大華鑛業法　本溪湖法　電氣爐法　電氣分解法
古式法　電擊法

(この場合鞍山又は淸津日鐵におけるような鑛石の濃縮法は載せなかつた)．　以上

滿鮮を旅行して　　絹川武良司

先般日本鐵鋼協會の奉天に於ける講演大會に參加し滿洲，朝鮮等の工場視察を致しましたが前回の日本鐵鋼協會の時に比較して其發展の目覺しいのには全く驚きました．鞍山に於ける昭和製鋼所，其他の工場の躍進的發展，奉天鐵西の諸工場，北鮮方面の諸工場等の發展振りは內地で中々見られない素晴しいものがありました．新京の都市計畫等も感心させられた一つです．

扨てそれ等の素晴しい發展振りを見て感じさせられた一つに新しい方法の上に立てられた工場の幾かゞあります．それは平時ならば到底經濟的に成り立ち相もない工場（全工場の設備が全部新しい方法に立つてゐると言ふ譯では勿論ないが）が單に新しい方法であると言ふ丈で時局の波に乘つて設立せられてゐるかに見受けられたものが少くなかつた．果して斯樣なことでよいものであらうかと考へさせられました．勿論上にも述べた樣に眞に新しい方法に立脚してゐる部分は全體の一部分であるから平時になつたら其部分丈棄てる覺悟でゐるのかも知れないが‥‥．

第 2 に考へさせられた點は，工場其他の計畫なり，運用なりを見るに果して祖國日本の爲めを眞に思ふて經營してゐられるであらうかと言ふことに多少疑をもたされるのです．結局“王道樂土”は滿洲人の爲めの“王道樂土”で，祖國日本は滿人を“王道樂土”に住はせる爲めに重大な負擔を荷はせられてゐるのではないか？ 果してそれでよいものであらうか？ と言ふ點であります．

單文，意を盡しませんが私と同樣に感ぜられた方も少くないかと思ふ．そしてそれ等の方々ならば私の書いたこともわかつて頂けるかと思ふ．

滿洲見學の感想　　小島由之

斯界の御歷々の御伴をして本大會に參加した私が先づ目指した點は滿洲へ進出した中小工業者が現在如何に發展して居るか，乃至は現在鐵鋼配給統制に依つて製產制限を慨きつゝある內地中小鐵工業者の滿洲轉出に對して現地が如何なる地步を與へて呉れるかと言ふ期待でありました，然しながら鞍山，奉天と見學スケジユールが進み二三現地の人の話しを聞くに及んで此れはどうも諦めなければならぬ物かと言ふ事を悟つたのでありました．

卽ち各大工場は餘りに一貫作業設備が整ひ過ぎて居て新に其の手足となつて働く可き付帶工場を育成す可き必要を感じなくなつて居る，一方材料鐵鋼の方は內地と大差無く國策の線に順應した統制が徹底して居る．內地で行詰つた業者は此處でも伸びる途が無いと言ふ譯であつた．自分の期待に見切りを付けた私の目に映つた．滿洲の要求して居る物としてはどうも鐵鋼關係では面白くない．切實に體驗した旅館拂底から見て今後益々增加を豫想される旅行者乃至新任して來る人々の爲に旅館やアパートをドシドシ供給する必要が有ると思はれる．設備は何も華美を要しないが淸新な氣分を與へる物でなくてはならない．又多數の產業戰士に明朗高尙な娛樂機關を供給する必要が有る．家族的な慰安設備がドシドシ造られなくてはいけないと感じられた．

此等が結極間接に各大工場へ奉仕する途にも通じるのだと矢張り身分相應な認識を得た心算で居ります．「此れから一二年の間なら聞く人に迷惑も及ぼすまい」と折に觸れて廣告致します．大昭和製鋼所の遠大な計畫．扨は撫順，淸津の驚異的治績等々に至つては只々有難くて頭を下げて置くより仕樣の無い次第でした．此う言ふ私等に迄萬端御懇切に御世話下さつた現地役員諸彥．特に昭和製鋼所の方々の御骨折りに對しては有難く厚く御禮を申上げます．皆さんの御蔭で新興滿洲國の潑溂たる飛躍振りを見聞し曲りなりにも大陸經營の一端を覗ひ得ました事を感謝致して居ります．

滿州に旅して　　谷山巖

此度滿洲に於ける鐵鋼協會に出席して先づ第 1 に感じたことは，皇軍の威力である．いやすめらぎの御稜威があまねく行き亙つて居ることである．匪賊が橫行したといふのも今は昔の語り草であつて，只鐵條網にその殘骸を止めて居るのみである．例へば弓張嶺の鐵山へ水盃を交はして探檢に行つたとか，本溪湖の附近にて戰慄すべき事件が起つたとかいふことは遠い昔のやうな話に聞えるのである．これは偏へに君の御稜威によるものであるが，又幾多勇士の奮鬪努力されし跡が偲ばるゝのである．卽ち旅順，沙河の大會戰は元より北大營や南嶺等の戰跡を訪れては尊き勇士の靈に對し自ら首が垂れるのである．實にこれら先人の偉業により帝國の生命線は確保せられたといふ感を强くしたのである．

次に滿洲には製鐵事業に適する諸原料が極めて豐富なる故に，製鐵業には最も惠れてゐるのである．旣に鞍山，本溪湖等には大規模の製鐵事業があり，尙ほ現在擴張されつゝある故に，甚だ心强く感ぜられたのである．內地の銑鐵及び屑鐵を初めあらゆる材料の入手に血眼になつて騷いでゐるのにくらべれば隔世の感があるのである．

然し滿洲は大陸的氣分に支配されて人間のスケールが大きい故